1. 幼稚園の教育目標

子どもたちは、無限の未知なる可能性を秘めており、その可能性は幼児期の過ごし方で大きく左右される。 本園は「生きる力」の基礎を育むことを大目標としている。生きる力の根源はやる気である。四季折々の子 どもたちの体験活動を重視し、感動体験から湧き出るやる気(意欲)を発露させる保育を進める。

2. 令和二年度の重点

いきいきと活動し心豊かな子どもを育てる。

★ 考える子ども………… 工夫し創り出して遊ぶ★ 元気な子ども………… 身体を存分に使って遊ぶ★ 感じる子ども ………… 自然に親しんで遊ぶ

☆ 仲よくする子ども……… 思いやりをもってきまりを守って遊ぶ

3 評価項目の達成及び取組状況

3 評価項目の達成及び取組状況	Ն	
評価項目	結 果	理由
(1) 園の教育理念 教育方針	4. 5	 社会や地域の要請、園・子どもの実態に応じるとともに、本園の目指す教育理念・教育方針を再確認しながら、教育・保育に努めた。 「全教職員で全園児を育てる」ため、全教職員で共通理解する機会を持つことに努めた。 コロナが感染症第5類に移行されたことを受け、感染防止に努めながらも行事の充実を図り、体験活動を充実させた。
(2) 教育課程·指導	4. 5	 感染防止に努めながらも、教育方針に則り達成感や満足感が得られるよう保育の充実に努めた。 子どもの実態に応じた保育が展開できるように、指導の工夫を進めた。また、それぞれの活動後の評価を重視し、次の活動に生かせるように園児への声掛けをさらに工夫した。 活動中や活動後の振り返りを大切にすることに努め、子ども達に小さな変化や伸びに気付かせるよう声かけをし、自己肯定感の醸成を図った。 四季折々の行事を実施することができた。 絵画指導・英語指導・体育指導・音楽指導では、各講師と連携した保育を実施できた。
(3) 保健管理	4	 園医による定期的な検診と月々の発育測定の実施及び日常の健康観察や疾病予防のための取り組み等、園児の健康管理に十分配慮することに努めた。 子どもたちの健康の維持増進のため、運動遊びやマラソン・縄跳びなど計画的に取り組み、運動への意識を高めることができた。 年間を通して手洗い・うがい・アルコール消毒の徹底を図った。 バスの運行に際し、乗車後の消毒・換気・間隔を開けるよう園児の座り方の指導を徹底した。 園医・保護者と連携を取り、園児の健康管理に力を注いだ・アレルギーのある園児の対応を全職員で共有し対応することができた。
(4) 安全管理		・ 避難訓練及び防犯訓練を定期的に実施し、子どもの安全に対する 意識の高揚を図った。また、教職員一人一人が子どもを守る意識 と行動を高めることに努めた。

	5	 施設・設備の定期的な安全点検と保育室等の日常の安全点検の徹底に努めた。 門扉の二重ロック・開閉時のベルなど、継続して防犯・安全管理を徹底している。 防犯カメラ・インターホン対応・入園証の着用等、外部侵入者対策を保護者と共に実施した。 登降園管理システムで園児一人ひとりの登降園の時刻等の把握を徹底して行った。
(5) 特別支援教育	5	 箕面市主催の研修会に参加し、日々の指導に活かすことができた。 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成し、個に応じた指導ができるよう努めた。 小学校への滑らかな進級となるよう、進学する小学校や家庭との連携を図りながら要配慮児童のスムーズな進学に向け取り組んだ。 配慮を要する個々の子どもの理解が進むよう、箕面市発達相談や保護者との連携を密にし、的確な援助・支援となるよう努めた。 全教職員で必要な情報共有を行い、連携・協力を図ることに努めた。
(6) 組織運営	5	 全教職員で全園児を育てるという教育方針に基づき、ひとりひとりの子どもの実態を共通理解し、指導・支援・対応ができるよう努めた。 園務分掌や学級運営において、経験の浅い教員が力を発揮できるよう援助し、教職員の資質向上を図ることができた。 担当するそれぞれの園務分掌や職務において、コロナ対策に配慮しながら、工夫や改善が図られ円滑な幼稚園運営を行った。 よりよい人材育成の視点から、適切な指導・人材配置を行い、チームとしての力を生かし組織全体の総合力を高めることができた。
(7) 研修	4	 様々な研修への参加を促し、園内での伝達講習に繋げた。 新任教員に対しては、府教育センター主催の初任者研修を受講した。 子ども理解・指導技術・指導法などの研修を定期的に実施し、子どもへの声かけを含めた対応の仕方や保護者対応について相互に理解を深めることができた。 外部講師による実施研修を実施し、指導法や表現技術を学び、指導に活かすことができた。
(8) 情報提供	5	 毎月の園だよりと毎週のミニだよりの発行で、園の様子や取り組みについて保護者に伝え、大事にしていきたいことや園の方針を伝えるよう努めた。 未就園児のイベントが少しずつ実施できるようになり、園の様子を知っていただける機会が増えた。 園児管理アプリの導入により、メールによる連絡がスムーズに行え、保護者との連絡が行いやすくなった。 幼稚園のHPをより分かりやすいように更新した。
(9) PTA との連携	5	PTA 主催の夕涼み会を実施することができた。また、運動会では コロナ禍で中止をしていた卒園児の種目等を多くの参加者で実 施することができた。

(10)子育て支援	5	・ 未就園児を対象とした「あそびにおいで」を予定通り実施することができた。・ 満2歳児を対象とした、週2回の特別保育「ぴょんぴょんらんど」は年間計画のもとに実施できた。
(11) 預かり保育	4. 5	 保護者の要望を可能な限り受け入れ、毎日7時30分~18時30分まで実施した。 保育を希望する家庭が多くなり、人数が増えたため、年齢により保育室を分けるなど工夫をし、安全な保育に努めた。 園児管理アプリを導入したので、正確な時刻による料金管理が実施できている。 預かり保育を異年齢児の交流の場として位置づけて意識し取り組んだ。
(12) 教育環境整備	4. 5	 子どもの安全と飛び出し防止の為、ノブやカギを子どもが届かないようにしたり、開閉時に音が鳴るようにしたり、開閉時について保護者への注意喚起を継続的に行っている。監視カメラによる見守りもモニターを注意して見るなど全職員で実施している。 登降園管理システムにより、園児の出欠状況を全職員で共有し、登降園の把握を確実に行えるように努めている。 園庭の遊具の点検・整備を日々行い、よりよい環境を提供するよう努めた。 花壇・玄関前の植物栽培に力を注ぎ、四季折々の草花が鑑賞できるように努めた。 子どもたちは、菜園で育てたジャガイモやさつまいもの収穫を楽しむことができた。

☆自己評価 (5:十分に達成 4:達成 3:おおむね達成 2:要努力 1:要一層努力)

4. 総合的な評価結果

- ・本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止を第一とし、計画していた活動を工夫し柔軟に対応しながら行った。活動の中では、子ども自らが活動を工夫しながら創っていく姿を求め、「考える子」を育むことに重点を据えて取り組むことができた。
- ・全教職員で全園児を育てるという共通意識のもと、子どもに対応することに努めたことや、園児たちが自分の思いや考えを発表する機会を様々な場面で設定するなど工夫し、一人ひとりの思いを引き出すことに努めることができた。
- ・本園87年の伝統の中、四季折々の行事や、子どもの体験活動を重視しながら、コロナ禍の中ではあるが、新しい方向性を見据えた保育の展開に取り組むことができた。
- ・年間を通じてコロナ感染予防に努め、大阪府や箕面市の方針を基本にしながら、保護者が安心して子どもを預けることのできる環境づくりに取り組むことができた。
- ・園児管理システムを導入し、保育の活性化、充実化を図ったことで園と家庭との連絡を円滑にすることができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育課程·指導	 教員の資質向上を目指して、積極的に研修に参加できるよう今後も努める。一人ひとりの子どもがより主体的に動ける保育の指導法の研究と環境整備の充実に努め、子どもが自分の思いを表出できるよう導き、自己肯定感の育成を図る保育に向けて取り組む。特に支援が必要な園児への適切な指導の在り方を職員間で今後も共有していく。 教育課程及び指導計画を定期的に見直し、園児の実態に応じた保育を展開して
	いくことに努める。特に、異年齢児との交流活動をより活性化していく必要が

	ある。 ・ 幼小連携及び地域連携を大切にした保育のあり方を探りながら実践していく。 ・ 複数教員での指導、多方面から眺めた保育を深め、保育の充実に努める。
安全管理	・ アレルギー (特にアナフィラキシー) を持っている園児への対応を全教職員で 共通認識し、ダブルチェックを行うなど安全管理に努める。あらゆる自然災害 を想定した防災計画を確立するとともに、避難訓練を計画的に継続して実施し ていく。
研修	大私幼や府教育センターの研修等を活用し、研修の機会を確保し、課題への取り組みや教諭のスキルアップへと繋げたい。
情報提供	・ HP やらくらくアプリを活用し、保護者や地域へ、幼稚園に関する様々な情報の 提供・幼稚園公開の実施・園だよりやPTA情報などについて発信していく。
預かり保育	・ 預かり保育の中身を吟味し、異年齢児の交流の場として充実を図る。

6. 学校関係者評価委員会の評価

全体のまとめ

- ・教育目標実現に向け、コロナ禍前の数多くの行事をさらに工夫し実施されたことは評価できます。
- ・教職員で全園児を育てていくという理念を大切に、今年度も子ども一人ひとりへの丁寧な対応に努めたことがわかります。今後も保護者や地域からの信頼がさらに厚くなるよう取り組むことを望みます。
- ・コロナ禍前のように数多くの行事を実施され、子どもにとっては教育的効果がとてもあった1年と感じられます。今後も、伝統を大切しながらも、一人ひとりがのびのびと安心して過ごせる環境を整えていかれることを継続してください。
- ・園児管理アプリにより、保護者との相互の連絡をアプリで行えるようになり、保護者の利便性が向上 していると思われます。